



第64回国民体育大会バスケットボール競技会



開催場所： 佐渡市両津総合体育館
 試合区分： 成年男子 準々決勝
 開催期日： 2009年10月3日(土)
 開始時間： 13:50

GAME No. 1003A3

主審： 川端 孝博
 副審： 小菅 学

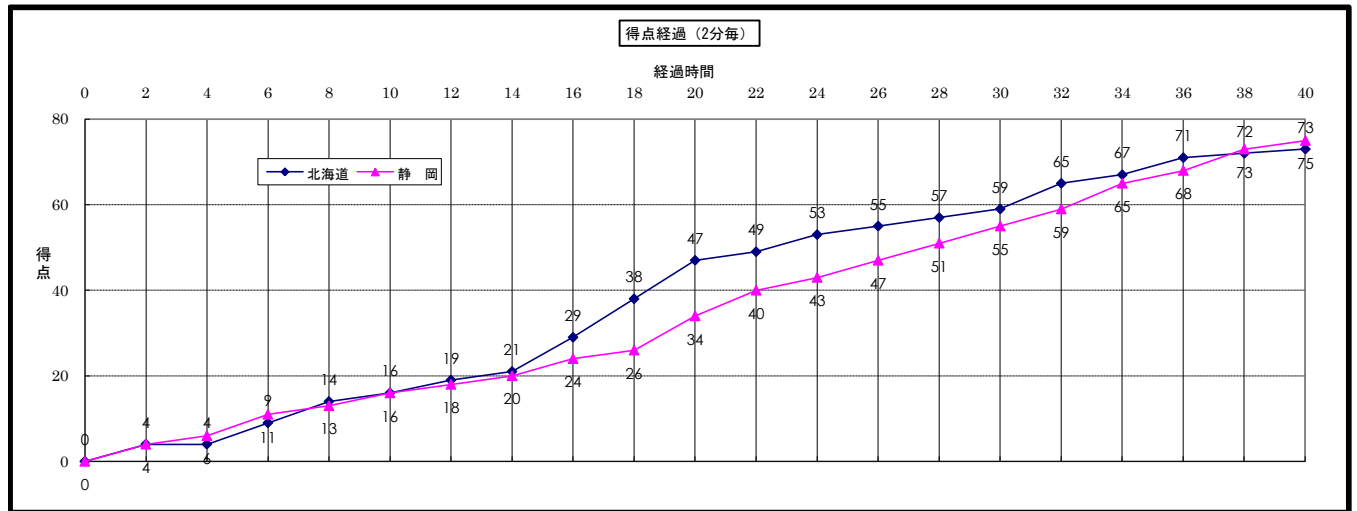
Team A 北海道	● 73	16 -1st- 16 31 -2nd- 18 12 -3rd- 21 14 -4th- 20	○ 75	Team B 静岡
----------------------	----------------	--	----------------	---------------------

TEAM A		北海道					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		高山 直之	0	0	0	0	1
5		田内 啓賢	4	0	2	0	0
6	*	大友 肇	16	3	2	3	3
7	*	山中 峰夫	2	0	0	2	4
8		寿崎 雄介	3	0	0	3	1
9		金井 洋晃	2	0	1	0	1
10		影谷 篤	-	-	-	-	-
11	*	御坊田 達也	15	1	6	0	0
12	*	下澤 義弘	20	4	2	4	0
13		兼田 大輔	2	0	0	2	1
14	*	千代 雄亮	9	0	4	1	3
15		今野 直人	-	-	-	-	-
Coach		武田 力	-	-	-	-	0
TOTAL			73	8	17	15	14

TEAM B		静岡					
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	内山 貴敏	8	1	1	3	3
5		永田 道夫	0	0	0	0	3
6		太田 友和	0	0	0	0	1
7		山本 剛	-	-	-	-	-
8		江崎 猛	2	0	1	0	0
9		阿形 陽児	-	-	-	-	-
10	*	澤木 渉	15	1	6	0	0
11	*	菅川 浩樹	15	1	6	0	1
12	*	田中 健介	3	0	1	1	1
13		伊藤 健太	18	4	3	0	4
14		大石 慎之介	6	0	3	0	3
15	*	飯田 貴大	8	0	3	2	4
Coach		江崎 猛	-	-	-	-	0
TOTAL			75	7	24	6	20

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	-	-	25:07	-		

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	15:38	18:47	34:19	-		



ゲームレポート

* 得点は、(Aチームの得点) - (Bチームの得点) で表記しています。

1Q、両チームとも、ディフェンスはハーフコートマンツーマンでスタート。北海道 #11 御坊田がドライブインのシュート、静岡 #15 飯田がリバウンドからのシュートを決める。北海道の #6 大友のドライブインのシュートに対して、静岡は #10 澤木が連続してゴール下、ドライブインのシュートを決める。中盤以降、北海道は #11 御坊田のゴール下、#12 下澤の2本連続3Pシュートなどで点を重ねる。それに対し静岡は #4 内山、#13 伊藤の3Pシュートで応戦する。1Qは一進一退の攻防が続き16-16で終了。

2Q、開始から中盤にかけて、1Q同様に一進一退の攻防が続く。北海道は #12 下澤、#6 大友が3Pシュートを決め、静岡は #14 大石のミドルシュート、#12 田中のジャンプシュートで対抗する。残り4分、静岡 #15 飯田がテクニカルファールを取られると、流れが北海道に傾いていき、相手チームのファールからもらったフリースローを確実に決める。一方静岡も #11 菅川、#10 澤木が3Pシュートで応戦するも、47-34で北海道がリードして終了。

3Q、静岡は #4 内山がドライブインでシュートを決めると、北海道は #12 下澤、#11 御坊田のジャンプシュートで応戦する。静岡が、10点差に縮めると、北海道は残り5分でタイムアウトを取るが、ゲームの流れは静岡に移っていき、#11 菅川、#14 大石が確実に得点していく。静岡が59-55と北海道を追い上げ、第3クォーター終了。

4Q、静岡は #13 伊藤が連続して3Pシュートを決めると、残り6分で67-65と2点差に詰め寄る。その後、残り2分で相手ファールから得たフリースローで得点し、72-73とついに逆転。終了間際、北海道は3Pシュートを狙うもリングに嫌われ、73-75で静岡が接戦を制し、準決勝に進出した。

記載責任者	本間 亘 (所属)	新潟県バスケットボール協会
-------	-----------	---------------